

令和7年度9月補正予算案

I 規 模

一 般 会 計	11億6,770万円
特 別 会 計	17億1,617万円
●-----●	
総 額	28億8,387万円

※別に債務負担行為 8億270万円を設定

II 補正予算案の概要

<u>1 一般会計補正予算案</u>	<u>11億6,770万円</u>
(債務負担行為	8億 270万円)

(1) 令和7年8月の大雨に伴う災害復旧	6億1,000万円
大雨により被災した道路、河川、公園、農地、林道等の復旧に要する経費。	

(2) 物価高・米国関税対策	2億5,000万円
----------------	-----------

- ア 学校給食費の保護者負担軽減事業 1億7,300万円
長引く物価高の中、進学等で学用品費等の出費が増加する市立の小学校6年生及び中学校3年生（特別支援学校の小・中学部含む）の学校給食費（令和8年1～3月分）の保護者負担額免除に要する経費。

- イ 物価高騰に立ち向かう中小企業等に対する生産性向上支援助成金 5,000万円
物価高の影響により厳しい経営環境にある中小企業等が行う、新商品・新サービスの開発や省エネ投資、効率化・高収益化等、生産性向上の取組への支援に要する経費。

- ウ 中小企業賃上げ・雇用安定化サポート事業 2,700万円
物価高や米国関税措置の影響を受ける中小企業における雇用関係助成金のサポートや、最低賃金引上げ・生産性向上に資する設備投資等への支援に要する経費。

(3) 賑わい・つながりづくり	7, 200万円
(債務負担行為	4億2, 050万円)

- ア 新規航空路線支援事業【県・町連携】** **3, 200万円**
北九州空港における韓国・清州（チョンジュ）線の新規就航に伴う運航助成や集客・PRに要する経費。

- イ 小倉城天守・小天守E V棟増築及び耐震改修工事等事業**
(債務負担行為 4億2, 050万円)
小倉城におけるユニバーサルツーリズムの推進に向けた、小倉城天守のエレベーター棟増築等に要する経費について、債務負担行為を設定するもの。

- ウ 「希望のまちプロジェクト」支援事業** **3, 000万円**
地域共生社会の拠点を整備する「希望のまちプロジェクト」について、企業版ふるさと納税を活用した拠点施設整備費の支援に要する経費。

- エ SDGsに関する国連会合関連イベント開催事業** **1, 000万円**
令和7年11月に北九州市で開催予定の「第16回国連統計委員会専門家会合」に合わせた、北九州市の持続可能な取組に関するイベント開催等に要する経費。

(4) 子育て・教育環境のさらなる充実	3億円
(債務負担行為	1, 050万円)

- ア 学校体育館エアコンパイロット整備事業（中学校・特別支援学校）**
(債務負担行為 1, 050万円)
市立学校の体育館における、今後のエアコン整備検討に向けた実施設計に要する経費について、債務負担行為を設定するもの。

- イ 北九州市立大学新学部開設に向けた基金積立** **3億円**
北九州市立大学新学部開設に向けた支援のために、企業版ふるさと納税を活用し、基金に積み立てるもの。

(5) その他	2億7, 170万円
(債務負担行為	3億7, 170万円)

- ア 情報システム統一・標準化推進事業**
(債務負担行為 3億7, 170万円)
国の方針による、住民基本台帳等の地方公共団体情報システムの標準化の円滑な推進に要する経費について、債務負担行為を設定するもの。

- イ 埋蔵文化財センター移転事業** **8, 350万円**
埋蔵文化財センターの移転工事に伴う、資材価格等高騰対応等に要する経費。

ウ 新門司グラウンドのスポーツ交流拠点整備支援に向けた基金積立 **7,000万円**

スポーツ交流拠点整備に向けた支援のために、企業版ふるさと納税を活用し、基金に積み立てるもの。

エ 馬島・藍島生活インフラ整備支援事業 **3,190万円**

馬島・藍島におけるＬＰガス事業者撤退に伴う、生活インフラの電化工事支援に要する経費。

オ 北九州国際展示場施設整備事業 **6,130万円**

A I Mビル2階ギャラリーにおける漏水工事に要する経費。

カ 食肉センター特別会計繰出金 **2,500万円**

食肉センターの老朽化した設備の改修に伴い、食肉センター特別会計への繰出を補正するもの。

(6) 減額補正 **▲3億3,600万円**

定期予防接種事業 **▲3億3,600万円**

新型コロナワクチン接種に係る国の助成金終了に伴い、接種希望者（65歳以上等）の急激な自己負担増を軽減するため、接種費用の半額程度を助成するもの。

	事業費	国助成金	一般財源
当初予算額 ① (自己負担：3,260 円)	13.4 億円	8.5 億円	4.9 億円
補正予算後 ② (自己負担：7,800 円)	10.1 億円	0 億円	10.1 億円
補正予算額 (② － ①)	▲3.3 億円	▲8.5 億円	5.2 億円

※補正予算を計上しない場合、自己負担額は 10,700 円となる。

※一般財源 5.2 億円に、国の重点支援地方交付金 0.8 億円を活用。

(7) 9月補正予算案の規模と財源内訳（一般会計）

9月補正予算案計上額（一般会計） **11.7億円**

【財源内訳】

国県支出金	5.0 億円
地方債	3.8 億円
その他特定財源	▲4.5 億円
一般財源（令和6年度決算剰余金の活用）	7.4 億円

2 特別会計補正予算案

17億1,617万円

(1) 食肉センター特別会計

4,500万円

食肉センターの老朽化した設備の改修に要する経費。

(2) 公債償還特別会計

3,800万円

空港関連用地整備特別会計の公債償還に要する経費。

(3) 介護保険特別会計

15億9,517万円

令和6年度決算に伴う国・県への返還及び介護給付準備基金への積立に要する経費。

(4) 空港関連用地整備特別会計

3,800万円

北九州空港関連用地における分譲市有地の売却に伴う公債償還に要する経費。なお、市債の償還は公債償還特別会計を通じて行うもの。

3 繰越明許費

4億7,040万円

道路事業などにおいて、関係者との調整等に日時を要したことなどの理由により、年度内の事業の執行ができない見込みのものについて、4億7,040万円を繰り越すもの。

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない場合がある。